

2018年6月幹事会 セミナー幹事資料

1) セミナー日時

2018年8月22日（水）～24日（金）

2) 前回幹事会からの進捗

- 4/20（金）：会場下見および打合せ（主幹事、副幹事、協力CRO3社）
- 5月上旬：要旨集への広告掲載中止および参加費値上げ（32000円 → 37000円）を幹事会で承認（メール審議）
 - ✓ これまで掲載いただいていた企業へは、中止の連絡済み。
 - ✓ 来年以降での収入増の施策については、別途検討する。
- 5/23（水）：演者の先生方に講演要旨集作成を依頼
- 6/1（金）：ポスター、参加募集要領、プログラムを幹事会で承認（メール審議）
- 6/4（月）：一般参加者募集開始
- 6/8（金）：演者、座長の先生方に参加依頼状を発送
- 6/13（水）：加藤名譽会長、山添名譽会長、栗津先生、鎌滝先生、堀江先生に招待の連絡
 - ✓ 加藤先生は22-23日、堀江先生は全日程でご参加。鎌滝先生は不参加。

3) 参加登録状況

6/20(水)時点で27名の登録

4) 今後の予定

ラウンドテーブルディスカッション（RTD）

- 6/29（金）：参加申し込み一次締め切り → 追加募集を実施予定（最終締め切り7月中旬）
- 7月上旬：RTDの各セッションへの一般参加者の割り振り → アンケートを配信
- 7月中旬～下旬：アンケート集約、RTDの課題設定およびグループ分け
(組織委員、演者、セミナー幹事)

講演要旨集

- 6/29（金）：抄録原稿締め切り
- 7/6（金）：発表スライド&略歴の原稿締め切り（遅くとも7/20までには原稿入手）
- 7月下旬：講演要旨集の印刷依頼
- 8月中旬：製本完成 → XW府中に納品

5) その他：協議事項

① 功労会員・特別会員のご参加について

先日、国立衛研の石田先生より、第22回 薬物動態談話会セミナーの申し込みがありました。

会計内規では、特別・功労会員の参加費（交通費含む）は、談話会負担となっている。

しかしながら、功労会員・特別会員については、原則、幹事会で承認された先生方（今年は栗津先生、鎌滝先生、堀江先生）のみ招待を行い、招待されていない先生方からの申し出は、原則、お断りしているのがこれまでの運用であった。

石田先生は今年の夏セミナーに強い興味を持たれていることから、今回は特例として、石田先生をセッションのチューターとしてご招待し、参加費は談話会負担、交通費は実費を支給することを提案する。

なお、謝礼については、会計内規に夏セミナーのチューターに関して設定されていないため、下記の2つをオプションとして提案する。

- 演習セミナーと同じ基準で、大学・国公立等の機関：3万円、企業：1.5万円を謝礼とする。
- 昨年夏セミナーでは千葉大：関根先生をチューターとして招聘し、謝礼なしであったこと、さらに夏セミナーでのチューターの役割も考慮して、今回の石田先生については謝礼なしとする。

なお、功労会員あるいは特別会員のご参加については、来年度以降、下記を基本方針とすることを提案する。

- 原則、功労会員あるいは特別会員には案内しない。
- 幹事会であらかじめ承認された先生方は招待する。
- そのうえで、招待されていない方から参加の申し出を受けた場合は、関係者で協議して RTD の議論に有効と思われた場合は幹事会に図って参加の可否を決定する。

本件に関して、今回の幹事会での決定受け、会計内規、セミナー内規の改訂を実施し、明記する。

② 会員以外の参加について（谷学とのコラボレーション）

今回の夏セミナーでは、安全性評価研究会（谷学）とのコラボレーションを実施しており、現在、谷学からの参加も募集中である。その中で、談話会の会員会社以外の企業から、参加希望がありましたので、参加登録の手続きについて、下記のように提案します。

- 谷学の窓口である積水メディアカル瀧澤様より、会員会社以外の参加者リストをセミナー幹事に連絡いただく。
- 積水メディカルのIDで談話会のHPにログインし、瀧澤様が代理で申込み手続きを行う。
- 参加費の支払いは、各参加者がそれぞれ談話会の口座に振り込みを行う。

以上

薬物動態談話会 会計内規（抜粋）

以下に新年会、年会およびセミナーにおける幹事及び運営関係者の参加費について示す。

	新年会 (10,000円)	年会 (30,000円)	セミナー(40,000円、 宿泊費込)
名譽会長・会長 特別会員・功労会員	談話会負担	談話会負担 (交通費込み)	談話会負担 (交通費込み)
専任幹事	談話会負担	談話会負担	談話会負担
主幹事(4社)・補助者	自己負担	主幹事と企画幹事補助 者は談話会負担 (4社5名)	セミナー幹事と補助 者、企画幹事、庶務幹 事は談話会負担 (3社4名)
副幹事(4社)・補助者	自己負担	副幹事は談話会負担 (4社4名)	セミナー副幹事と補助 者は談話会負担 (1社2名)
サポート会社	-	自己負担	自己負担
協力会社	-	-	談話会負担

IV. 講演謝礼

以下の表のように定める。ただし、演者の所属する機関において、別途、講演謝礼の額あるいは謝礼額等の規定がある場合はその機関の規定を考慮する。

(例会)

講演区分	所属	講演謝礼
特別講演	大学及び国公立等の機関	8万円
	企業	4万円
一般講演	大学及び国公立等の機関	4万円
	企業	なし
講演題別 (チューーター等)	八才以上未満者/未満	6万円
	企業	2万円

(年会)

講演区分	所属	講演謝礼
特別講演	大学及び国公立等の機関	8万円
	企業	4万円
一般講演	大学及び国公立等の機関	4万円
	企業	2万円
会長/名譽会長による Speech		3万円

(セミナー)

講演区分	講演時間	講演謝礼
会長講演		3万円
特別講演	30分以上40分未満	2万円
	40分以上60分まで	3万円
教育講演	30分以上40分未満	2万円
	40分以上60分まで	3万円
一般講演	30分以上40分未満	2万円
	30分未満	1万円

*：官、学に所属する非特別会員をRTD補助者として指揮した場合、謝礼はなしとする。

(演習セミナー：終日実施)

講演区分	所属	講演謝礼
特別講師	大学及び国公立等の機関	8万円
	企業	4万円
チューーター	大学及び国公立等の機関	3万円
	企業	1.5万円

*：企業所属の講演者は会員、非会員を問わない。